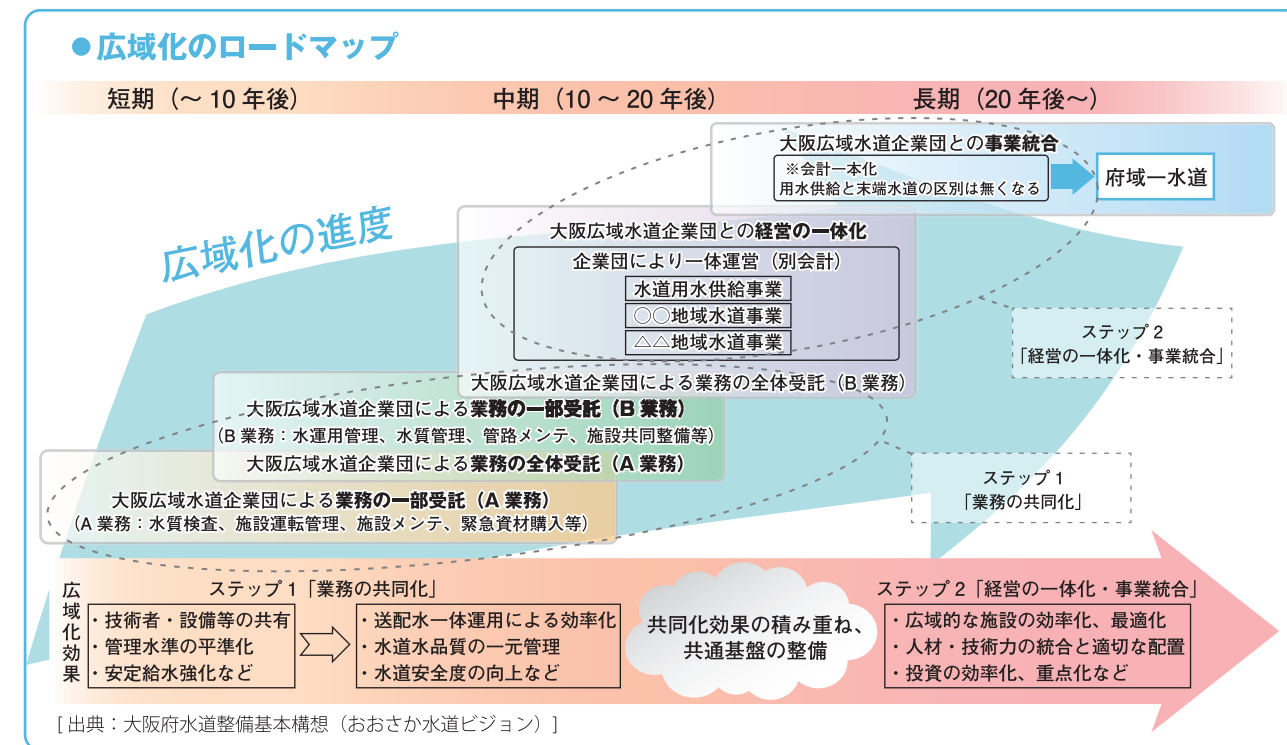


府域一水道の実現に向けて

人口減少等に伴う水需要・料金収入の減少をはじめ、老朽化した施設の更新・耐震化やベテラン職員の退職に伴う技術継承への対応など、大阪府内の水道事業は様々な課題に直面しています。

大阪広域水道企業団は、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的にお届けするため、大阪府が策定した「大阪府水道整備基本構想（おおさか水道ビジョン）」に基づき、府内の水道事業の効率化や運営基盤の強化につながる「広域化」（市町村水道事業との連携拡大や統合）を推進し、当企業団を核とした「府域一水道」（大阪市を含む府内の全市町村との水道事業統合）をめざしています。



ステップ1 まずはできることから

広域化の推進にあたっては、災害用備蓄水の共同製作、水質管理業務の共同化といった「業務の共同化」など連携に取り組みややすい分野から、順次取組を進めています。

ステップ2 進み始めた「府域一水道」

「経営の一体化」の取組として、市町村水道事業との統合に向け、検討、協議を進めています。

大阪広域水道企業団では2017年4月からこれまで、岸和田市をはじめ19団体の各水道事業を引き継ぎ、取水から家庭などへの給水までの水道事業全体を担っています。

これからも市町村水道事業との連携拡大や統合を進め、「府域一水道」の実現に向けて取り組みます。

大阪広域水道企業団と水道事業を統合した団体

